

タイムテーブル

1 団体戦 11月13日(土)

時 間	1コート	2コート	3コート	4コート	5コート	6コート	7コート	8コート
9:00~	1 (津田男)	2 (補助員)	3 (補助員)	4 (松山東男)	5 (補助員)	6 (大生院)	7 (補助員)	8 (補助員)
放送で指示	試合番号20番までは、空いたコートで試合を行う。団体戦では、勝者チームが3試合分の審判用紙を本部に提出する。敗者チームが次の試合の審判を行う。各チームの初戦は全試合実施、それ以降は2ポイント先取で打ち切る。試合の進行状況によっては、二面展開で実施することがある。冷暖房は利用しない。							
13:00~	21 (前試合の敗者)		22 (前試合の敗者)		23 (前試合の敗者)		24 (前試合の敗者)	
放送で指示	25 (21・22の敗者)				26 (23・24の敗者)			

2 個人戦 11月14日(日)

時 間	1コート	2コート	3コート	4コート	5コート	6コート	7コート	8コート
9:30~	1 (71番の選手)	2 (71番の選手)	3 (70番の選手)	4 (63番の選手)	5 (55番の選手)	6 (54番の選手)	7 (47番の選手)	8 (46番の選手)
放送で指示	以下、試合番号121番までは順次空いたコートに入れていく。選手は、線審を伴ってコートに入ること。線審が不足している場合は、本部へ申し出ること。勝者は、勝者サインをして、速やかにスコアシートを本部に提出すること。敗者は次の試合の審判を務める。							
14:00~	119	120	121	122	123	124	125	126
放送で指示	127	128	129	130	131	132	133	134

大会に係る注意事項

- コート番号は、本部から見て左側手前より1~4、右側手前より5~8コートとする。
- タイムテーブルは予定であり、開始時刻やコートの変更が起こりえる。放送による指示を聞き逃さないように、事前に指導すること。
- 団体戦の選手ベンチは、トーナメントの右側チームがステージ側を位置取る。
※ 県総体とは異なり、選手ベンチを設置します。
感染症対策のため、アドバイザー席を1席のみ設置する。日本バドミントン協会の感染症対策ガイドラインに基づく。
- 団体戦の試合開始前に、速やかにオーダー用紙を本部に提出すること。試合中でも、勝敗が決した時点で提出を要請することがある。
- 水分補給は、11点とゲームの合間を原則とする。ペットボトルを直接持ち込む事は認めない。
- 本部が団体戦の審判を務める学校を指定する。敗者が次の試合の審判を務める。勝者は試合後速やかに審判用紙とシャトル等を本部に提出すること。勝者サインを忘れないこと。
- 個人戦は試合番号が近づいたら1Fで待機し、コール後はただちにコートに入ること。ただし、密集を避けるため、試合の10前の選手のみフロアに入場してよいこととする。
- フロア以外で、シャトルを使った練習を認めない。
- 選手・保護者に関わらず、チームで責任をもって全てのごみを持ち帰ること。体育館入口付近にある自販機のごみ箱には、そこで購入した物以外のごみを捨てないこと。
- 監督及び引率者が感染症対策責任者となり、最大限の対策を施す。